

冬季院内感染対策協力のお願い

秋から春先にかけて、インフルエンザ・感染性胃腸炎が流行します。当院では、患者さまが安心して治療を受けられるよう、院内感染の防止に努めておりますので、下記についてご理解・ご協力いただくようお願い申し上げます。

1. 感染症にかからないよう注意しましょう。

【インフルエンザ・風邪の予防】

- 人ごみを避け、外出時にはマスクを着用しましょう。
- 帰宅時には「手洗い」「うがい」をしましょう。
- 栄養と休養を十分にとりましょう。
- 室内では加湿と換気をよくしましょう。



【感染性胃腸炎の予防】

- 帰宅時や食事の前、トイレの後に、石けんでよく手を洗いましょう。
- 感染した人の便・おう吐物には、直接触れないようにしましょう。
(使い捨ての手袋やキッチンペーパーなどを使って処分しましょう。)
- 調理をする場合は、よく加熱(85℃、1分間以上)しましょう。

- インフルエンザ様症状(急激な高熱、寒気、頭痛、関節痛、全身倦怠感、のどの痛み、咳、鼻水、鼻づまり、腹痛・下痢など)・感染性胃腸炎症状(下痢・おう吐)がある場合、またはそれらの診断を受けた場合は事前に担当医にご連絡下さい。
- インフルエンザ様症状・感染性胃腸炎症状がある方の付添い、面会は禁止させていただきます。
- インフルエンザ、感染性胃腸炎が病院に持ち込まれた場合、院内感染を引き起こす危険性がありますので、特に感染を受けやすい高校生以下のお子さまの来院は原則禁止させていただきます。その他の方々も面会は必要最小限でお願いします。
- 面会をされる際には、「手洗い・手指の消毒」と「咳エチケット」をお願いします。

- 咳やくしゃみをしているときはマスクを着用しましょう。
(マスクは説明書をよく読み正しく着用しましょう)
- 咳やくしゃみをするとき、マスクを着用していない場合は、ティッシュなどで口と鼻を押さえ、他の人から顔をそむけて1m以上離れましょう。
- 鼻水・痰などを含んだティッシュは、すぐにごみ箱に捨て、手を洗いましょう。

- 付添い・面会の方々にインフルエンザ・感染性胃腸炎をはじめとする感染症が判明した場合は、速やかに入院病棟にご連絡下さい。

いっしょに予防インフルエンザ

手洗いでインフルエンザを予防して、かかったらマスク等でせきエチケット。みんなの「かからない」、「うつさない」という気持ちが、インフルエンザの予防にはとても大切です。

マメに
マスク



インフルエンザ
予防啓発キャラクター
マメソウくん

しっかり
栄養・休息



兵庫県立がんセンター
シンボルキャラクター
ともたん

マメに
手洗い



インフルエンザ
予防啓発キャラクター
アズキちゃん

